

平成25年度 学校評価書

学校名： 静岡市立高等学校

I 経営の重点に関わること

| 1 学校教育目標：「質実剛健」の気風を継承し、調和のとれた、社会に貢献できる創造的な人間の育成   |  | 自己評価  | 学校関係者評価委員会から   |  |
|---|--|---|--|--|
| 2<br>重点目標<br><br>「質実剛健」の気風を継承し、「正しく、強く、明るく」を校訓に文武両道を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた、創造的な人間を育成する。 | (1) 品位ある生活習慣の確立  | ①品位ある行動や服装について考えさせる機会を持つ。【生徒課】  | A  | A<br>以前より生徒の服装等が良くなっていると感じる。また、授業参観でも落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っているように感じる。さらに、服装・遅刻・礼儀等において自己管理出来る生徒を育ててほしい。                    |
|   |  | 【学校説明】<br>全校集会、学年集会、生徒大会などを利用し、教師だけでなく生徒が話をさせる機会を作った。   |  |  |
|   |  | ②規範意識の向上と、交通ルールの遵守。【生徒課】  | B  |  |
|   |  | 【学校説明】<br>自動車学校講師による交通講話の実施。交通委員会、PTA育成委員会と協力して臨地指導を実施した。自転車事故は19件あり昨年17件を上回った。                                 |  | B<br>生徒の基本的なモラルや社会生活でのルール等を集団生活を通してさらに高めてほしい。また、交通事故等が結果として増加しているということは、生徒の社会の一員である意識が少ないように感じる。保護者と一体となった取り組みも必要に感じる。 |
|   | (2) 新学習指導要領に対応した学力保障   | ①新学習指導要領に対応した魅力ある授業づくりを図る。【教務課】   | A  | A<br>適宜教育課程等の見直しは、必要に感じる。また、課を越えた連携もこれからは必要であり、さらに科学探究科の課題研究を発展させていけると良い。  |
|   |  | 【学校説明】<br>スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、より充実した研究ができるように科学探究科の教育課程の一部を編成し直した。研修課と提携して、新学習指導要領に謳われている「言語活動の充実」について研修を重ねた。 |  |  |
| ②授業公開や研究授業など、授業改善を行うためのシステムを検討する。【教務課】  |  | A   |  |  |
|   | 【学校説明】<br>5月、9月、10月に授業公開を行い、多数の本校保護者、中学生とその保護者に参観いただいた。授業改善、研究授業については研修課と提携して実施した。 |   | A<br>教師は、自らの授業の指導力向上に絶え間ない努力と自負が必要である。その結果、個々の教師の力量アップにつながると良い。また、テーマを絞った授業改善も有効に思う。 |  |

II 各指導部・領域等に関わること

| 大項目                     | 中項目  | 評価指標   | 自己評価  | 学校関係者評価委員会から   |
|-------------------------|--|--|---|--|
| 1<br>教育課程<br>学習指導       | (1) 確かな学力の育成<br>【市共通項目1】   | ①家庭学習時間の確保と家庭学習習慣の定着を図り、主体的な学習への取り組みを促す。【各学年】  | A   | A<br>各学年部や教務課・進路課が中心となった協力と努力がなされていることが伺える。その結果、着実な成果が上がっている様子が伺える。また生徒の家庭学習の充実には、予習を前提とした授業内容を行う等の授業工夫も必要である。 |
|                         |  | 【学校説明】〔1年部〕<br>定点観察の家庭学習時間調査を実施することで生徒達の学習習慣を把握し課題（宿題）の出し方を工夫した。   |   |  |
|                         |  | 【学校説明】〔2年部〕<br>学年部の教員全体で、学習課題（特に週末課題）の取り組みの定着を目指し、きめの細かい指導に当たることができた。その効果は大きい。   |   |  |
|                         |  | 【学校説明】〔3年部〕<br>4月当初より、部活動の終了とともに家庭学習時間調査により学習時間の大幅な増加が見られた。  |   |  |
|                         |  | ②定期テストや実力養成テスト、小テスト等日々の学習の定着確認に全力で取り組む。【各学年】   | A   |  |
|                         |  | 【学校説明】〔1年部〕<br>テスト個票の配布により生徒自身に振り返りをさせ、次回のテストに対する学習方法の改善策を考えさせる習慣を付けるように促すことができた。                                      |   |  |
|                         |  | 【学校説明】〔2年部〕<br>テスト前の、土曜講座をはじめ、生徒の意識付けは十分にできた。また、テストの振り返り指導も各教科、適切に行うことができた。  |   |  |
|                         |  | 【学校説明】〔3年部〕<br>各教科、実力テスト、校外模試の振り返りが出来た。  |   |  |
|                         |  | ③家庭学習時間の実態を調査・把握し、家庭学習習慣の定着を図る。【教務課】   | B   |  |
|                         |  | 【学校説明】各学年で一年を通じて家庭学習時間を記録させ、生徒の実態を調査・把握し、必要に応じて個々に指導する体制をとっている。テスト一週間前からの部活動の自粛要請、期末テスト日を延長するなど、落ち着いて家庭学習に取り組む環境を整備した。 |   |  |
| (2) 道徳教育の充実<br>【市共通項目2】 | ①他者を思いやる気持ちを育てる。【生徒課】  | B  | B<br>社会人となると、もっとも重要なのが人間関係の構築だと思う。特別活動や学校行事を通して好ましい人間関係の作り方を学ばせたい。また、教師から生徒をほめることも有効だと思う。 |  |
|                         | 【学校説明】<br>日々のHR活動、行事、部活動、生徒会活動を通して仲間意識を育て、人間関係を構築させる場と位置づけた。6月と11月に心のアンケートを実施した。 |  |   |  |
|                         | ③特別活動の充実<br>【市共通項目3】   | A  |   |  |
|                         | 【学校説明】<br>市高祭、スポーツ大会、体育祭など、生徒会、生徒委員会、部活が協力しどれも大成功を収めることができた。                     |  | A<br>部活や文化祭等で生徒が生き生きと活動している様子が伺える。人間関係が希薄化している今日、部活動の重要性が益々高まってきている。                      |  |
| 2<br>生徒指導               | (1) 一人一人を大切に<br>した指導<br>【市共通項目4】   | ①校内校外を問わず、全職員が積極的に生徒指導に参加する。【生徒課】  | B   | B<br>生徒への声かけが生徒指導の基本であり続けてほしい。統一された一斉指導が行われているが、個々の教師の良さを生かした指導や様々な角度から生徒を観察し、指導の工夫を更に取り入れてほしい。                |
|                         |  | 【学校説明】<br>教師間の温度差はあるものの、朝の昇降口指導、有志による早朝交通指導を始め、生徒への声かけ指導は増加してきている。   |   |  |
| 3<br>進路指導               | (1) 進路指導の充実  | ①低学年時の進路指導と学習支援の充実。【進路課】   | A   | A<br>3年間を通してきめ細かく進路指導が行われていると感じる。様々な方の話しを聞ける機会をさらに増やし、複眼的な大学選びが出来るように徹底したい。                                    |
|                         |  | 【学校説明】 1年：総合学習の時間を計画的に活用し、多様な支援を行った。<br>2年：学年集会や進路また、学習のガイダンス等が効果的であった。<br>3年：総合学習の時間を通じ、年間を通じ計画的に行えた。                 |   |  |
|                         |  | ②「チャレンジする生徒」「自ら学び、考え、行動する生徒」の育成。【進路課】  | B   |  |
|                         |  | 【学校説明】<br>1年：ポイント制を活用し、進路について概ね意欲的に行動することができた。<br>2年：週末課題等、きめ細やかな働きかけにより、前向きな生徒が多い。<br>3年：妥協的な進路を選択した生徒が、一部存在した。       |   |  |
|                         |  |  | B<br>生徒が自らの生き方を探究し、明確な目的意識を持てるようにしたい。また、自分に合った進路選択が出来るように更なる指導の工夫を望む。                     |  |

|   |                                      |   |   |   |  |
|---|--------------------------------------|---|---|---|--|
| 4<br>安全管理・指導  | (1)学校安全システムの構築<br>【市共通項目5】           | ①生徒・教師とも防災に関する意識の高揚を図る。【総務課】  | A | A<br>防災意識は、薄れてしまいがちなので、月1回防災の日を決める等繰り返し指導・確認をしたい。また、地域防災訓練に参加する生徒をさらに増やしたい。                               |  |
|   |                                      | 【学校説明】 25年度用の「非常災害等対策マニュアル」の作成、「地区別集会」「地震防災訓練」「防災避難訓練」「救助袋・AED」の取り扱い及び使用訓練を計画通り実施できた。また、「防災避難訓練」時に教職員の役割分担を再確認した。 |   |   |  |
|   |                                      | ②施設や設備の定期点検や修繕等を実施し、生徒が安心・安全に学習できる環境を維持する。【事務室】   | B |   | B<br>少ない予算内で協力し努力していることを感じる。日々校内巡視を複数の教師で行う等さらに安全を高めてほしい。                                      |
| 5<br>保健管理・指導  | (1)健康教育の充実<br>【市共通項目6】               | ①生徒自ら正しい健康管理ができ、安全で規則正しい生活習慣を身に付ける。【保健環境課】  | A | A<br>保健室と担任と連携されていることを感じる。家庭学習調査等を生かして生活習慣の指導も行いつつ、自分の健康は自分で高める意識の徹底を図りたい。                                |  |
|   |                                      | 【学校説明】 保健室で記入する受診カードを自分で正確に記入することにより、心身の状況把握を促進することができた。  |   |   |  |
| 6<br>特別支援教育   | (1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進<br>【市共通項目7】 | ①担任等の教師への連絡を行い、保健室・教育相談室との関係を密にし、心のケアの指導を充実する。【保健環境課】   | A | A<br>生徒が多様化してきており、様々な生徒指導が必要になっていると思う。全先生方がカウンセリングマインドをもってきめ細やかな対応を行ってほしい。                                |  |
|   |                                      | 【学校説明】 特別支援の生徒の対応を、担任や相談室、外部機関との連携をより密にした。  |   |   |  |
| 7<br>組織運営   | (1)組織・運営の改善<br>【市共通項目8】              | ①縦と横の「報告・連絡・相談」体制を更に整備し、全職員の情報共有と協力体制を充実させる。【管理職】   | A | A<br>効率化によって時間が節約出来たことは良い。管理職を中心に教育目標の実現に向けて全体で動く組織であってほしい。また、効率化だけでなく、人間関係の構築のために直接的に触れ合うことも必要である。       |  |
|   |                                      | 【学校説明】 一人一台パソコンが活用され、連絡黒板と口頭連絡を有機的に併用することにより、職員の打合せ・連絡はきわめて短時間に、効率的に行われている。                                       |   |   |  |
| 8<br>研修   | (1)研修体制の充実<br>【市共通項目9】               | ①新学習指導要領に対応した授業展開を探究する。【研修課】  | A | A<br>研修を通して、充実した授業が出来たことは喜ばしい。授業力を高めることが生徒が伸びることでもあるため、教師間で自由に批評等をしあえる切磋琢磨した雰囲気大切である。                     |  |
|   |                                      | 【学校説明】 本年度は、全体研修・選択研修を含めて、全10回ほど研修を行った。先生方の新学習指導要領に対する意識が上がり、授業内容も充実した。   |   |   |  |
|   |                                      | ②図書館が本に出会う場であり、「学習センター」「情報センター」として機能するよう環境整備に努める。【図書課】  | A |   | A<br>雰囲気の良い図書館だと感じる。これからも生徒の読書量が増えることを期待する。また、各教科や担任等と連携し、授業や自主学習での図書館の利用の増加を期待する。             |
| 9<br>保護者・地域住民等との連携  | (1)信頼される学校づくりの推進<br>【市共通項目10】        | ①ホームページの更新回数を向上し、広く学校の活動内容を公開する。【広報課】   | B | B<br>外部から学校を観察するには、ホームページの情報は、重要。また、これからの時代、デジタル化した情報発信は不可欠である。さらに更新回数等が増えることを期待する。                       |  |
|   |                                      | 【学校説明】 更新回数は増加しなかったが、学校からの広報活動として、特に学校行事などの様子を適時に公開することができた。  |   |   |  |
|   |                                      | ②メールシステムやインターネット等を利用し、確実に素早い情報提供を行う。【広報課】   | A |   | A<br>メールシステムは、緊急連絡等危機・安全管理に非常に役立つ。利用回数が多いのは、良いことである。保護者が安心するつながりを目指してほしい。                      |
| 10<br>施設設備  | (1)リサイクルや省エネの推進と施設の安全面の向上            | ②校舎内外の清掃と美化をさらに進め、電気や紙等の資源の節約を向上させる。【保健環境課】   | A | A<br>トイレは、学校の状況を計るバロメーターにもなるので、清潔であることは良いことである。さらに清掃時に生徒に協調性や公正さを身に付けてもらいたい。                              |  |
|   |                                      | 【学校説明】 今年度はトイレ清掃の徹底に重点を置き、校内美化が進んだ。資源の節約にも積極的に取り組み昨年比、着実に消費量が減少している。  |   |   |  |
|   |                                      | ②教室やトイレ等のこまめな消灯、エアコン温度の適切な管理など、節電を意識した行動の徹底を図る。【事務室】  | A |   | A<br>地球温暖化の進行等で節電管理や教室等の温度管理は、大切なことである。極力無駄を省く努力を期待する。また、生徒自ら節電に努力することを指導してもらいたい。              |
| 11<br>科学探究科   | (1)科学探究科の特色化と指導の充実                   | ①SSHの指定により、全職員・全教科での協力体制を構築する。【科学探究科】   | B | B<br>管理職等がリーダーとなり、全校・全教科での取り組みに体制を進めてほしい。SSHの取り組みを普通科にも生かせるようにしたい。  |  |
|   |                                      | 【学校説明】 初年度であり、全体の協力体制を完全に構築することはできなかったが、SSHを意識した授業を工夫し、前向きに取り組んだ教科もあった。   |   |   |  |
|   |                                      | ②SSHの指定により、運営指導委員会の開催や他校との情報交換を図るとともに、研究備品等の購入により、指導・研究環境を整備する。【科学探究科】  | A |   | A<br>「SEC-1」授業での英語科と連携しながらコミュニケーション能力を更に育てること等に取り組んでもらいたい。また、予算を効率・効果的に使用してもらいたい。              |
|   |                                      | 【学校説明】 他校の発表会等の参加を通じて、理数教科だけでなく、いろいろな教科で情報収集を行った。また、SSHの予算については適切に処理できた。  |   |   |  |
|   |                                      | ③大学や企業との連携を図り、年間スケジュールを構築し、「課題研究」を計画・実施する。【科学探究科】   | B |   | B<br>課題研究に意欲的に取り組み生徒が多いことはすばらしい。できるだけグループのレベルの均衡化を行いながらさらに課題追求を充実させたい。また、テーマを絞って研究させることも効果がある。 |
|   |                                      | ④科学の甲子園等各種研究発表会に応募し、生徒たちの探究心を高め、また全国のSSH校の発表会へ参加する。【科学探究科】  | A | A<br>山崎賞受賞おめでとうございます。各種発表会への参加は、生徒の向上心を高め、視野の拡大等につながる。  |  |
|   |                                      | 【学校説明】 科学の甲子園やSSH生徒研究発表会（全国）に参加し、良い刺激を受けた。また、山崎賞にも応募し、見事賞を受賞した。   |   |   |  |
| 学校から 経営のまとめ(成果と課題)  |                                      |   |   | 学校関係者評価委員会まとめ   |  |
| <p>・平成25年度の本校の取り組みについて、委員の皆様から、貴重な意見やアドバイス、理解ある評価をいただいた。</p> <p>・今年度は、品位ある生活習慣の確立を生徒指導の重点に位置づけ、朝の昇降口での挨拶や声かけなどをとおして、規則正しい生活習慣の確立と品位ある身なりの習慣化に取り組んだ。また、学習面では、新学習指導要領に対応した学力保障を重点に位置づけ、授業公開や授業評価アンケート、ICTの活用などを通して言語活動の充実など新学習指導要領への対応と魅力ある授業づくりに取り組んできた。文部科学省によるSSH指定を受け、科学探究科では、新たな可能性を開拓する充実した教育活動が展開された。</p> <p>・次年度以降、科学探究科を核に、地域の期待を実現する進学校として、確かな学力、豊かな情操と道徳心、健やかな身体の育成を目指し、教育活動の充実を図っていく。</p> |                                      |   |   | <p>教職員全体の努力の成果を強く感じる。学校評議委員会の回数を増やしたり、管理職とゆつくり話す時間があると良い。社会の変化や地域の実態を踏まえながら、静岡市民の期待に応えられる学校づくりに期待したい。</p> |  |